

2016.07.08

◆「建築技術者のための 鉄骨製品検査の着眼点」を発行

当会関西支部建築技術部会および工場製品検査専門部会では、鉄骨製品の品質確保と向上を図るため、工場製品の製作の流れと品質基準、製品検査や工場調査時のチェックポイントなど品質管理の重要性について分かりやすく解説した「建築技術者のための鉄骨製品検査の着眼点」を発刊しました。

<http://www.nikkenren.com/about/kansai/book.html>

◆「建設工事の公害防止と建設副産物のリサイクル等に関する標語」入賞者発表

当会公衆災害対策委員会環境公害対策部会で募集しました「建設工事の公害防止と建設副産物のリサイクル等に関する標語」の入選作品を決定しました。

<http://www.nikkenren.com/rss/topics.html?ci=923&ct=3>

◆「建設業における女性の活躍推進に関するアンケート結果」を公表

当会けんせつ小町委員会では、会員企業の女性活躍推進に向けた取組み状況を調査するとともに、専門工事業者における女性技能者の現況、採用意欲等の調査を実施し、その結果を公表しました。

<http://www.nikkenren.com/rss/topics.html?ci=926&ct=6>

◆国土交通省に「女性の活躍推進に関する要望書」を提出しました

当会では、「けんせつ小町委員会」を設置し、女性技術者・技能者の入職・定着促進に取り組んでいます。その活動の一環として、国土交通省に対して『もっと「けんせつ小町」が活躍できる建設業へ（要望）』と題する要望書を則久けんせつ小町委員長名で提出しました。

http://www.nikkenren.com/sougou/komachi_12.html

◆官庁等からのお知らせ

当会では、官庁等から受信した通達等をホームページに掲載しています。

<http://www.nikkenren.com/news/oshirase.html>

最近の主な受信件名は、次のとおりです。

- 2016.07.06 バングラデシュ：ダッカ市内における銃撃・人質事案に伴う外務省による注意喚起等について（国交省）
- 2016.06.30 公共建築工事の円滑な施工確保について（国交省）
- 2016.06.24 超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動対策について（国交省）
- 2016.06.22 下請負人等に対する契約の適正化及び支払の迅速化並びに必要な技術者の配置等について（東京都）
- 2016.05.31 親会社及びその連結子会社の間の出向社員に係る主任技術者又は監理技術者の直接的かつ恒常的な雇用関係の取扱い等について（改正）（国交省）

◆「(仮称)大阪新美術館」公募型設計競技を実施(大阪市)

大阪市では、「(仮称)大阪新美術館」について、平成33年度中の開館をめざし、大阪の新たな文化芸術拠点として国内外からも注目を集める美術館にふさわしい設計提案を広く求めるため、公募型設計競技を実施します。

<http://www.aba-osakafu.or.jp/info/1607/admin04.html>

◆平成28年度建設リサイクル法説明会(第1回)(大阪府)を開催

大阪府では、建設リサイクル法に基づき、建設工事に伴い排出される廃棄物の有効活用を推進するため、建設リサイクル法の説明会を開催します。

【日時】9月1日(木)13:30~16:30

【場所】大阪府庁新別館北館4階多目的ホール(大阪府中央区大手前3-1-43)

http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_shinsa/recycle_index/28setsumeil.html

◆「大阪府被災宅地危険度判定士(養成)講習会」のお知らせ

大阪建築物震災対策協議会では、被災宅地危険度の判定を行う技術者を養成・育成するための講習会を開催します。

【日時】9月15日(木)、11月10日(木) 何れも13:30~16:15

【場所】大阪府建築健保会館6階ホール(大阪府中央区和泉町2-1-11)

【受講料】無料

【申込先】(一財)大阪建築防災センター被災宅地危険度判定士養成講習会係
(06-6942-0190)

<http://www.okbc.or.jp/proof/takuchi%20hanteishi%20koushuukai.html>

◆「鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針・同解説」改定講習会を開催

日本建築学会では、標題の講習会を開催します(当会後援)。

【日時】8月26日(火)13:00~17:10

【場所】大阪科学技術センター4階401号室(大阪府西区靱本町1-8-4)

【受講料】日本建築学会会員11,000円、当会会員13,000円(テキスト代を含む)

<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2016/72026.pdf>